



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校便り12月号
令和元年11月29日
横浜市立旭小学校

校外学習の引率をして

校長 高桑 透

朝の冷え込みが厳しくなり、年の瀬を感じる季節となりました。秋は、多くの学年で校外学習が盛んにおこなわれる時期です。引率者として、いくつかの学年と一緒にりましたが、その時に見つけた子どもたちの輝いている姿を紹介します。

始めに感心したことはバスの中での過ごし方でした。旭小学校で校外学習に行くときには、ほとんどの場合はバスに乗って鶴見駅に行くこととなります。学年全員100人くらいが一度に乗ることができないので、クラスごとなどいくつかのグループに分かれてバスに乗ります。その時に、どの子どもも一般のお客さんに迷惑をかけないように気を付けてバスに乗っていました。駅までの時間はほんの10分くらいですが、黙ってじっとしている子どもたちの様子を見て、素晴らしいなと思いました。一般のお客さんの中には話をしている人もいますし、それが普通のことでもあります。ただ、集団で乗せていただいているからこそ、迷惑をかけないという意識が育っているのだと思います。

また、鶴見駅からの電車でも、同じように迷惑をかけないように乗っている様子がわかりました。駅のホームではきちんと並び、降りる人がいなくなるのを待って、静かに電車に乗っていました。リュックは迷惑にならないように前向きに。座席が空いていたら座り、立っている人は危なくないように手すりや吊革につかまっていました。降りるときもスムーズで、すぐに電車から離れて整然と並びました。席をゆずったり、降りる人のために通路を空けたり、ホームを歩く際には自分たちも他の人も危険がないように安全に気をつけて歩いたりすることができていました。

低学年のころからの公共の交通機関で移動する経験を通して身につけてきた力が、定着しているということがわかりました。高学年になれば、子どもたちだけでグループごとに乗車して鶴見駅に集合したり、解散時刻が遅くならないように、鶴見駅解散にしたりすることもできるようになります。ある学年の子どもたちと一緒にバスに乗っているときに、一般のお客さんから「どの学校ですか？静かに乗っていて偉いですね。」と声をかけられることがありました。とても嬉しい気持ちになりました。これからも、地域に愛される子どもたちでいてほしいと強く思いました。

平成31年、令和元年もあとひと月となりました。子どもたちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく、安心・安全な環境の中で学校生活を送ることができましたことは、地域の皆様、保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

令和2年も引き続き、本校の教育に深いご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。皆様、どうぞよい年の瀬をお過ごしください。



12月の取組目標

生活目標

ものを大切にしよう

保健目標

体をきたえよう

清掃目標

すみずみをきれいにしよう

給食目標

環境を整えてなごやかに会食をしよう